

事業者名:株式会社 赤崎オート

■本社所在地:鳥取県東伯郡琴浦町赤崎1114-1 ■TEL:0858-55-2318

取組テーマ:地域密着のsmallモビリティカンパニーへ

■事業概要 (自社の技術・製品・サービスなど、主な事業について記載)

- 「ヒトとクルマの笑顔をつくる」をビジョンに掲げた地域密着のトータルカーライフサポート企業
- ◆新車販売・中古車販売(国産全車種・全銘柄取扱)新車・中古車リース、電動福祉車販売
 - ◆国土交通省中国運輸局指定自動車整備工場 自動車の車検、点検整備、福祉車両メンテナンス
 - ◆損害保険取扱代理店 生命保険取扱代理店 ロードサービス対応 セルフ手洗い洗車場の運営

■2030年に目指す姿 (現状を起点とした目標設定ではなく、SDGs 実現に向けた自社のあるべき姿を検討し、記載)

自動車に特化した少資源化と効率化を目指し、「安全」「安心」「快適」で最適なカーライフを提供することができる地域密着のsmallモビリティカンパニーを目指します。

■SDGs の取組のPRポイント

(目指す姿の実現に向けた取組として、特にPRしたい内容を簡潔明瞭に記載。図や写真等も貼付可。)

「地域課題を解決するモビリティプロバイダーへ」

必要な時に必要なだけ使用できるリース・レンタルで確かな実績

- ・共助交通用カーシェアリング向けソリューション
- ・災害給電用EV車
- ・電動福祉車両レンタル
- ・フードデリバリー向け軽商用車
- ・マンスリーリース

■3側面の重点的取組

(重点的に取り組む項目を太字とし、現状と今後の目標・取組を記載)

社会		
地域の「移動の自由」を実現するモビリティ・ソリューションの提供 山間地のドアツードアの移動の足として メンテナンスリースで共助交通をサポートしていきます。また、免許証返納後の移動手段として電動福祉車両を販売していきます。	労働災害の防止	<input type="checkbox"/>
	ハラスメントの防止	<input type="checkbox"/>
	女性の活躍	<input type="checkbox"/>
	障がい者雇用	<input type="checkbox"/>
	多様な人材の活躍	<input type="checkbox"/>
	多様な働き方の促進	<input type="checkbox"/>
	労働者の人権配慮	<input type="checkbox"/>
	社会配慮商品・サービス	<input type="checkbox"/>
	地産地消	<input type="checkbox"/>
	地域社会への貢献	<input type="checkbox"/>
+		
経済		
省資源で効率的なモビリティライフの展開 自動車の事故や故障を防ぎ、自動車の価値の維持に努めるための取組としてDXを活用した自動車の診断、アフターメンテナンスを実施していきます。	BCP策定	<input type="checkbox"/>
	セキュリティ対策	<input type="checkbox"/>
	法令遵守の取組徹底	<input type="checkbox"/>
	情報公開	<input type="checkbox"/>
	後継者の確保	<input type="checkbox"/>
	市場変化への対応	<input type="checkbox"/>
	経営資源活用	<input type="checkbox"/>
	デジタル化・生産性向上	<input type="checkbox"/>
	雇用の維持・拡大	<input type="checkbox"/>
	人材育成・能力開発	<input type="checkbox"/>
+		
環境		
自動車製品のライフサイクル長寿命化で廃棄物削減 自動車の事故や故障を防ぎ、自動車の価値の維持に努めるための取組としてDXを活用した「ヨコナガカーライフ」※という考え方をお客様へ推奨していきます。 ※きちんとメンテナンスをしながら安全運転で1台に長く乗りましょうという提案	自社の気候変動リスク	<input type="checkbox"/>
	社会変化の気候変動リスク	<input type="checkbox"/>
	自社による環境への影響	<input type="checkbox"/>
	燃料消費量の削減	<input type="checkbox"/>
	電力消費量の削減	<input type="checkbox"/>
	再生可能エネルギー	<input type="checkbox"/>
	廃棄物の削減	<input type="checkbox"/>
	水資源の適正な管理	<input type="checkbox"/>
	環境配慮型商品・サービス	<input type="checkbox"/>
	環境面での社会貢献	<input type="checkbox"/>
	+エコドライブ	<input type="checkbox"/>
	+	

■トレードオフの分析

(上記重点的取組を推進した際に、トレードオフ(代償)としてどのような負の影響が生じるか、またそのことにどう対処していくか分析を記載)

自動車販売台数の減少とそれに伴う売上高の減少、利益率を向上できるよう、デジタル化や生産性向上のための取り組みを加速することを実施予定。

(様式第2号) とっとりSDGs企業認証 チェックシート [2024年3月改訂版]

(企業名: 株式会社 赤碓オート)

色付きのセルのみ入力してください

社会	8	○
経済	8	○
環境	9	○
合計	25	○

(○となった取組項目数とその各側面の判定)

(各側面で○となった取組項目数の合計と全体の判定)

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会1	労働災害の防止				○			
社会1			[KPI] 労働災害の年間発生件数	✓		0件、自主点検など期間を定めて確認を実施	労働災害0件目標	継続的で定期的な労働災害予防を実施
社会1			労働安全衛生に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		自動車整備振興会から安全作業に関する情報を得ている。		[1年目] ・研修への参加
社会1			安全衛生委員会の設置など、社内体制を整備している					[2年目] ・安全啓発ミーティング実施
社会1			安全対策のルールやマニュアルなどを整備している	✓		BCP計画を策定		[3年目] ・ヒヤリ・ハットの件数把握
社会1			危険箇所・ヒヤリハットの情報収集、実態把握を行っている	✓		安全に関する情報収集の実施		
社会1			労災防止のための具体的な施設・設備の導入・改善を行っている	✓		空調服の支給するなどの熱中症対策の実施		
社会1			労働安全衛生に関する研修を行っている					
社会1			安全意識を醸成する外部の活動に参加している					
社会1			ISO45001などの労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得している					
社会1			取引先において労災を誘発しないよう取引条件等に配慮している					
社会1			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会2	ハラスメントの防止				○			
社会2			[KPI] ハラスメントの年間相談件数	✓		1件		
社会2			ハラスメント防止に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		鳥取県の無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)研修の講演会をWEB受講		[1年目] ・役員の研修への参加
社会2			ハラスメントを許さないことを経営トップがメッセージを発信している	✓		社内会議で毅然とした対応をとることを宣言		[2年目] ・従業員の研修参加
社会2			ハラスメントに関する相談窓口を設置するなど、相談体制を整備している	✓		代表が相談窓口としての役割		[3年目] ・従業員と役員の研修参加
社会2			相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置を講じ、周知している	✓		社内会議で周知		
社会2			ハラスメントを行った者に対する懲戒規程等を整備し、従業員に周知している					
社会2			アンケートや面談などにより、実態把握を行っている					
社会2			ハラスメント防止に関する研修を行っている	✓		琴浦町主催の人権研修を受講済み		
社会2			社員同士以外のハラスメント(顧客、取引先、就活生等)の防止を図っている	✓		パートナーシップ構築宣言を公開		
社会2			その他(※法令の規定への対応は対象外)	✓		役員が琴浦町男女共同参画推進委員となっている		
社会3	女性の活躍				○			
社会3		★	[KPI] 全従業員に対する女性従業員の割合	✓		33%(女性従業員数2人)	女性従業員比率40%以上を目標	積極的な採用活動と待遇の改善
社会3		★	[KPI] 管理職に占める女性労働者の割合	✓		25%(女性管理職数1人/全管理職員数4人)	女性役員比率30%以上を目標	働き続けられる就業規則の見直し・改善
社会3			[KPI] 男性従業員賃金の平均額に対する女性従業員賃金の平均額の割合	✓		約70%	男女賃金を同等とする	女性役員の積極的な登用と育成
社会3			[KPI] 男性従業員の育児休業等取得率			男性役員の取得実績あり、従業員は対象者なし	就業規則に育児休業規定を追記済	
社会3			女性の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		琴浦町男女共同参画推進企業、推進委員として情報共有がなされている。		[1年目] 女性用トイレの修繕・改修
社会3			女性の活躍について、会社の方針を表明している	✓		県の輝く女性活躍パワーアップ企業、方針等表明		[2年目] ・多様な働き方を実現している
社会3			育児・介護に配慮した柔軟な勤務形態導入などの規程を整備している	✓		育児・介護規定の策定済		[3年目] ・役員研修受講
社会3			自社の女性の活躍について、アンケート等により実態や課題を把握し分析している					働きがいのある職場づくり
社会3			必要な施設・設備の導入、改善を行っている					
社会3			女性のキャリアアップに向けた研修の実施や、外部研修への参加を推奨している					
社会3			県の輝く女性活躍パワーアップ企業、国のふるさと認定等に登録されている	✓		輝く女性活躍パワーアップ企業として登録		
社会3			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会4	障がい者が働きやすい職場づくり				-			
社会5	多様な人材の活躍		※女性、障がい者以外の取組を記載、採用活動の記載は不要		-			
社会6	多様な働き方の促進				○			
社会6			[KPI] ひと月あたりの労働者の平均残業時間	✓		3時間程度	月残業時間のムラを無くす	整備予約システムの改善
社会6			[KPI] 年次有給休暇の取得率	✓		全体平均70%	有休消化率80%以上を目標	取得率把握、役員からの声かけ
社会6			多様な働き方に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					[1年目] ・就業規則の見直し
社会6			健康経営を経営方針として位置付けている					[2年目] ・多様な働き方を実現している
社会6			管理職の人事評価に、部下の残業時間や有給休暇取得状況を関連付けている					[3年目] ・ヒヤリングによる改善、
社会6			上記以外の休暇を取得しやすい独自の仕組みを設けている	✓		休暇理由に関して説明不要を周知している。		
社会6			フレックスタイムや在宅勤務、短時間勤務など柔軟な働き方に関する制度を設けている	✓		従業員が予定に応じて時間単位で休暇を取得でき、現在も運用がなされている。		
社会6			従業員の副業を認めている					
社会6			従業員へのヒアリングなどにより、課題等の実態把握を行っている	✓		個別のミーティング等で課題などを聞く機会を設けている。		
社会6			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会7	労働者への人権配慮				○			
社会7			「ビジネスと人権」に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		人権・同和教育研修を受講済		[1年目] ・現在の問題課題の把握
社会7			人権方針(人権ポリシー)を作成・公開している					[2年目] ・社内研修の実施
社会7			管理的地位にある従業員に対して、意識啓発や研修を行っている	✓		社内会議などで注意喚起		[3年目] ・社内研修の実施
社会7			雇用契約書の締結、または、労働条件通知書を交付している	✓		ポスター等チラシの掲示		
社会7			人権関連トラブルについて、従業員や取引先向けアンケートや相談窓口設置を行っている	✓				
社会7			取引先において強制労働、児童労働が排除されていることを確認している					
社会7			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会8	社会配慮型商品・サービスの提供		※環境に関する内容は環境9に記載		○			
社会8			少数派や社会的弱者に配慮した商品・サービスの開発・提供を行っている	✓		電動福祉車両の販売、共助交通用自動車ソリューションサービスの提供		[1年目] ・利用契約件数の増加
社会8			上記以外の社会課題解決型の商品・サービスの開発・提供を行っている	✓		電動福祉車両のカーシェアリングサービスの開発		[2年目] ・サービス利用人数の増加
社会8			商品・サービスの開発・提供にあたり、利用者の安全性に配慮している	✓		安全運転指導員、社員による運転操作説明会の実施		[3年目] ・電動車への転換
社会8			利用者からの意見・要望を取り入れるための窓口を設けている	✓		金融機関、町、企業等との意見交換会の実施		
社会9	地産地消				○			
社会9			[KPI] 県内事業者からの調達率					
社会9			地域産業の発展や地域の事業者との共存共栄を経営方針に位置付けている			サプライチェーン全体の共存共栄方針を2024年にパートナーシップ構築宣言に明記している。		[1年目] 成約記念品地元利用率90%以上目標
社会9			パートナーシップ構築宣言を行っている	✓		2024年4月に宣言済		[2年目] イベント支出地元調達割合80%以上目標
社会9			地元事業者から、積極的・優先的に仕入れている	✓		新車納車記念品など地元事業者から購入		[3年目] イベント支出地元調達割合80%以上の維持
社会9			地域資源・地元産品を活用した商品・サービスを開発・提供している					
社会9			「食バラダイス鳥取県」アンバサダーに登録している					
社会9			その他					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会10	地域社会への貢献		※ビジネスとしての活動は社会8、環境に関するものは環境10に 分類		○			
社会10			地元自治会との交流イベント主催、防災訓練への参加など、地域活性化の取組を行っている	✓		商工会、整備振興会等のイベントへの参加・協力	地域社会へ恩送りの実践	【1年目】 同業種間交流の拡大 【2年目】 異業種間交流の拡大 【3年目】 社会貢献活動の実践
社会10		地域の学校における社会教育活動に協力している	✓		小学校社会科見学の受け入れ。中学校職業体験学習の受け入れを毎年実施。			
社会10		地域の自治体や学校、福祉団体等への寄附や寄贈を行っている	✓		歳末助け合い募金、赤い羽根募金募金箱の設置協力。			
社会10		災害時等に、地域住民に対して物資や避難場所の提供等を行っている又は同様の取組に係る地域防災協定を締結している						
社会10		「あいサポート企業」登録など、障がいの有無に関わらず尊重しあう社会づくりに参画している						
社会10		通勤、出張時の公共交通機関利用を促進するなど、地域交通機関の維持に貢献している						
社会10		その他						
社会+			※社会1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			
経済1	事業継続計画（BCP）の策定		※自社自身の取組を記載（他者の支援は社会8または10で記載）		○			
経済1			BCPを策定している	✓		BCP策定・改訂等による運用	迅速な災害復旧への備え	【1年目】 BCP計画の改善 【2年目】 災害時協力協定の拡大 【3年目】 給電車の社用車導入
経済1			BCPに沿った訓練を実施し、有用性を検証している	✓		9月に防災訓練・周知啓発		
経済1			策定したBCPや訓練の結果に基づき、仕組みづくり、設備導入等の対策を行っている	✓		災害時の電源供給企業間提携を実施		
経済1			有用性を確保するため、定期的にBCPを見直している	✓		災害時の連絡手段を見直し、災害用伝言ダイヤル1717の使用方法を従業員に周知。毎年9月を見直し時期と位置付けている。		
経済1			サイバーセキュリティや新型コロナウイルスなど、新たな脅威を把握しリスクの分析を行っている	✓		保険会社サイバーセキュリティ研修の実施		
経済1			その他	✓		被災地カーシェアリング協会への車両提供の申し出		
経済1								
経済2	セキュリティ対策				○			
経済2			セキュリティについて、専門機関の診断・指導を受けている	✓		自動車保険代理店向け情報セキュリティ研修を受講	顧客情報の適切な取扱いを 確実に行う	【1年目】 ・情報調査の実施 【2年目】 ・運用見直し点検 【3年目】 ・運用見直し点検
経済2			取引先や運送・清掃業者など、建物に出入りする者のセキュリティ上のルールを整備している	✓				
経済2			個人情報や機密情報の入手、利用、保管、提供、消去等の取扱ルールを設けている	✓		社内規則に則って運用		
経済2			情報セキュリティに関する管理者や専門部署を設置している	✓		情報セキュリティ責任者を設置済		
経済2			経営層や従業員に対して、専門家によるセキュリティ研修を行っている	✓		保険会社のオンラインセキュリティ研修を受講		
経済2			ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的更新している	✓		保険会社のセキュリティチェックの実施でOSウイルス対策ソフトに問題がないかを確認している。		
経済2			重要な情報については、アクセス制限を行っている	✓		重要とするファイルへのセキュリティを強化		
経済2			ISMS認証やPマークなどを取得している	✓				
経済2			その他、具体的なセキュリティ対策を実施している	✓		ホームページへのSSL化を実施済		
経済3	法令順守の取組の徹底（必須）				○			
経済3			コンプライアンスに関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		社外取締役等の意見・助言を受けている。	法令・コンプライアンスを遵守する企業風土の醸成	【1年目】 ・顧客や社外取締役等の意見に基づく運営方法、管理の見直し 【2年目】 ・定期的な意見の聞き取り 【3年目】 ・定期的な意見の聞き取り
経済3			経営トップが、法令順守することについて、社内外にメッセージを発信している	✓		ホームページ等で情報を発信している。		
経済3			自社事業に関わる法令を把握・社内共有し、遵守している	✓		業界団体の情報をこまめに確認。		
経済3			コンプライアンス委員会の設置など、チェック体制を設けている					
経済3			公益通報制度（内部通報制度）を整備している					
経済3			コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成し、社内に周知している					
経済3			従業員に対するコンプライアンス研修を実施している	✓		会議などでコンプライアンスのセッションを設けている。		
経済3			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
経済4	情報公開				○			
経済4			地域住民に影響を及ぼす可能性のある事業活動について、関係自治体や地域住民への情報提供など、適切なコミュニケーションを行っている				等身大の情報提供	【1年目】 ・AIによる情報発信に関する 注意研修 【2年目】 ・情報発信の見直し 【3年目】 ・情報発信の改善
経済4			就職を希望する者に対して、人事労務や就労実態等に関する情報提供を行っている	✓		オンラインを活用した企業情報の発信・受付		
経済4			情報提供にあたっては、多様な利用者や利用環境（アクセシビリティ）に配慮した情報提供を行っている	✓		情報発信時の明瞭さ、視覚、デザインへの配慮		
経済4			消費者や取引先からの情報開示の問い合わせに対する対応方針を策定し、適切に対応している					
経済4			消費者や取引先に影響のある情報漏洩や品質問題などの公表基準を設け、適切に運用している					
経済4			会社としての公式ホームページやSNSを有し、定期的に情報発信している	✓		公式HPだけでなく多様なSNSの活用による発信。		
経済4			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
経済5	後継者の確保				-			
経済6	市場変化を見据えた対応				○			
経済6			自社事業に影響を及ぼし得る、顧客のライフスタイル、価値観の変化を把握し、分析している	✓		自動車リース事業、レンタル事業の強化	お客様の立場に立ったサービスの提供	【1年目】 ・レンタル事業強化 【2年目】 ・リース事業強化 【3年目】 ・保険事業強化
経済6			今後見込まれる法令改正や規制緩和がもたらす自社事業への影響を把握し、分析している					
経済6			上記変化を踏まえた自社の商品・サービス、事業領域の見直しを行っている					
経済7	自社以外の経営資源活用				○			
経済7			※グループ企業間での取組は対象外				積極的に自らをアップデートできる企業へ	【1年目】 ・交流会への参加 【2年目】 ・外部相談窓口利用 【3年目】 ・外部専門家派遣利用
経済7			大学や試験研究機関などの有する専門性を活用している	✓		電動福祉車両のシェアリングサービスでは外部機関に方法を事前相談		
経済7			技術・ノウハウ、知的財産等に関する他社との連携・オープンノベーションに取り組んでいる					
経済7			副業・兼業などの外部専門人材や、土業等の専門家の知見を活用している	✓		弁護士、社会保険労務士への相談を実施		
経済7			自社の中核事業と非中核事業を見極め、戦略的に外部委託を行っている					
経済7			投資ファンドなどの外部資金を獲得している					
経済7			関係企業、業界団体のネットワークに参加し、情報収集や情報交換を行っている	✓		自動車整備振興会、商工会、法人会、ジェグテック等のネットワークに参加		
経済7			その他					
経済8	デジタル化による生産性向上				○			
経済8			[KPI] 労働生産性（付加価値額÷従業員数）				デジタル積極活用企業へ	【1年目】 ・デジタル積極的導入 【2年目】 ・検証期間 【3年目】 ・ペーパーレスによる紙の削減。
経済8			専門家から助言・指導を受けながら、経営層が主体となってデジタル化・DXを進めている	✓		商工会専門家派遣などの制度を利用しDXを実施		
経済8			デジタル化・DXに関する計画や方針を策定している					
経済8			デジタル化を推進する専用の部署や人材など、体制づくりを行っている					
経済8			営業・仕入れ・販売、開発・製造管理など、個別業務のデジタル化を行っている	✓		仕入れ等企業間で紙ベースのやりとり削減が進んでいる。		
経済8			業務間のデータを連携し全社的なデジタル化による業務変革・DXを進めている	✓		ペーパーレスの契約手続きを保険業務等で実施		
経済8			顧客・取引先との接点業務など各種業務におけるデジタル技術の活用状況を分析し、運用改善を行っている	✓		LINEを活用した交通事故でのロードサービス受付を実施		
経済8			新たな価値や顧客創出に向け、AI、ビッグデータ等を活用している	✓		簡易的な案内文書などAIによる書類作成を実施。		
経済8			その他					
経済9	雇用の維持・拡大				-			
経済9			※採用活動そのものは対象外					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
経済10	人材育成・能力開発				○			
経済10			経営層関与の下、従業員の能力向上に向け、一定の予算を確保し、人材育成に取り組む方針を示している				変化に対応できる能力の獲得	【1年目】 ・人材育成計画等の方向づけ 【2年目】 ・資格取得の推奨とサポート 【3年目】 ・資格取得のサポート
経済10		業務に必要なスキルマップを作成・更新している	✓		年間計画表の作成・振り返りの実施			
経済10		従業員のスキルを定期的に把握し、能力開発計画を策定・更新している						
経済10		外部研修への参加やeラーニングの活用を奨励し、積極的に受講させている	✓		保険講習、その他オンライン講習、技術講習の受講			
経済10		OJTの質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やマニュアルの見直し、トレーナー教育を行っている						
経済10		ジョブローテーションにより、計画的に従業員のスキルアップ・多能工化を図っている						
経済10		能力の向上を人事評価や処遇に反映させる仕組みを設けている						
経済10		従業員の資格取得を推奨し、要する費用を支援している	✓			整備士、査定士などの資格取得研修費用の負担を会社が行なっている。		
経済10		その他						
経済+			※経済1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			
環境1	自然環境の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策①】		○	分析・検討内容を記載		
環境1			リスクを特定している（気候変動による災害リスクの主なもの 急性リスク：洪水、台風、自然火災等／慢性リスク：海面上昇、高温、水不足等）	✓		自然災害発生に伴うロードサービス依頼、保険金請求の急増。	積極的な予防安全措置の推進	顧客、取引先などを含めたリスクの把握と防災対策の実行を進めていく
環境1		上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓		災害発生時の円滑な出動態勢の構築が必要			
環境1		上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている						
環境1		上記リスクへの対策を進めている	✓		災害時等の連絡態勢の構築と企業間連携の実施			
環境1		自然環境の変化による機会について分析している	✓		損害保険を活用した補償に関する情報提供などの声かけ			
環境2	社会・制度の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策②】		○	分析・検討内容を記載		
環境2			リスクを特定している（気候変動による社会・制度に関する4種類のリスク：政策・法規制、技術、市場、評判）	✓		カーボンニュートラル、自動車の自動運転レベルに応じたセンシング技術への対応、顧客の省エネに関する要望の高まりなどを把握している。	カーボンニュートラルに向けた環境変化への柔軟な対応	社内教育・情報伝達などを適しながら設備投資の実行で社会制度・環境変化へ対応する
環境2		上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓		新たな自動車整備用機器の購入機会の増加とそれに伴う新技術や整備情報の習得。			
環境2		上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている						
環境2		上記リスクへの対策を進めている	✓		設備投資の実施、事業環境変化に関する定期的な勉強会への参加			
環境2		社会・制度の変化による機会について分析している	✓		琴浦町脱炭素実行計画策定協議会への参加			
環境3	自社の事業活動が引き起こす影響		【環境負荷リスクの分析・対策】		○	分析・検討内容を記載		
環境3			自社の事業活動（原材料・エネルギーの調達、生産、販売、使用、物流等）が環境に与える負荷（CO2や廃棄物、化学物質等の排出、大気汚染や生物多様性、海や森林にどう影響するか）について、分析している	✓		使用電力量の節減、発行書面のデジタル化によるペーパーレスを実施。今後は電子契約比率を高めペーパーレス割合の更なる増加を実施。	環境負荷の軽減を図る取り組みの実施	電子書面の発行、自動車の適切なメンテナンスの実施、日々の業務を通じた改善で廃棄物を減らす為の取り組みを重ねていく。
環境3		自社の製品・サービスが利用され、最終的に廃棄されることで環境に与える負荷について、分析している	✓		メンテナンス不良、交通事故による廃棄車両の台数の把握。予防的措置によって廃棄物の削減を推進。			
環境3		自社の事業活動が環境負荷の軽減に貢献する機会について分析している	✓		適切なメンテナンスの実施で代替買取後の短期リース車両として二次的流通を促進することができる。			
環境4	燃料消費量の可視化と削減 (Scope1)		【カーボンニュートラル①<省エネ>】		○			
環境4		★	[KPI] Scope1のCO2排出量	✓		LED電球に代替を実施しCO2排出量は0.87t-CO2に削減。	CO2の見ええ化を継続	3年以内に太陽光発電設備の導入 【1年目】 ・自社排出CO2量の発信 【2年目】 ・CO2削減への設備投資 【3年目】 ・環境レポートの発行
環境4		専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている	✓		CO2排出量の可視化ができる「ゼロボード」の活用による把握			
環境4		省エネ設備（高効率ボイラ等）の導入・更新を行っている	✓		LED照明などの取り替え実施、社用車のエコカーへの代替などを実施済			
環境4		EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている						
環境4		CO2総排出量削減のため燃料を電気や都市ガスへ切り替えている						
環境4		燃料消費量低減につながる設備等の運転を行っている						
環境4		その他						
環境5	電力消費量の可視化と削減 (Scope2)		【カーボンニュートラル②<省エネ>】		○			
環境5		★	[KPI] Scope2のCO2排出量	✓		社用車にハイブリッド車を導入しガソリン等の使用量に伴うCO2排出量は9.11t-CO2となる。	更なる低燃費車の導入	3年間で燃料使用量を2割削減 【1年目】 ・CO2排出量の把握 【2年目】 ・設備投資の実行 【3年目】 ・環境レポートによる情報公開
環境5		専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている	✓		外部専門家よりCO2排出量の削減に関する提案書の受け取り、太陽光パネル設置に関する試算による助言を受けている。			
環境5		省エネ設備（LED照明、高効率空調等）の導入・更新を行っている	✓		省エネ機材、LED照明等の導入を実施している。			
環境5		EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている						
環境5		省エネに対応した建物改修を行っている						
環境5		節電マニュアルを作成し実践している						
環境5		その他						
環境6	再生可能エネルギーの導入		【カーボンニュートラル③<創エネ>】		-			
環境7	廃棄物の削減		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境7		★	[KPI] 総廃棄物発生量（※産業廃棄物だけでなく事業系一般廃棄物等も含む）	✓		3tの産業廃棄物、事業系廃棄物が発生している	安全に自動車を使っていたための取組で事故による廃棄物を削減する	定期点検実施、異常発生時の自動車保険ロードサービス活用による安全啓発活動 【1年目】 ・点検や安全啓発活動 【2年目】 ・DXを活用したメンテナンス管理の実施 【3年目】 ・コネクテッドシステムからの整備状況の把握と提案の実施
環境7		事業別、事業所別の廃棄物排出量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		自動車の故障、交通事故による損害により本来使用出来ていた機会が失われる機会損失が発生している。			
環境7		廃棄物削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		コナガカーライフという適切なメンテナンスを実践する取り組みを通じて事故・故障等の予防啓発を実施している。			
環境7		フードバンクやフードドライブ、フードシェアリングなどにより食品廃棄物削減を推進している						
環境7		調達・設計・製造段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている						
環境7		製品・サービスの提供段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている	✓		適切なメンテナンスの実施で走行の多い自動車も短期リースなど安全が確認できるものは再利用を実施している。			
環境7		廃棄物を資源として再利用することを事業実施上の仕組みとして取り入れている	✓		お客様の依頼を受けて保証付きのリビルト（中古部品）等の供給を受けて故障修理を実施している。			
環境7		その他（※法令の規定への対応は対象外）						
環境8	水資源の適正な管理		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		-			
環境9	環境配慮型商品・サービスの提供				○			
環境9			グリーン商品の認定取得している				移動に関するエネルギーの負担軽減を行う。	【1年目】 ・負担軽減試算の実施 【2年目】 ・メンテナンス情報公開 【3年目】 ・代替時の情報公開
環境9			製品別カーボンフットプリントを算出し、製品・サービスに表示している					
環境9			生分解性など、廃棄時に環境負荷が少ない素材を使った製品を開発・販売している	✓		エコタイヤ、LEDバルブ、リビルト部品、リサイクルパーツの販売を実施している。		
環境9			再エネ設備を設置し、発電した電気をFIT売電したり、発生した熱を他者に供給している（自家消費している場合は環境6へ）					
環境9			上記以外の環境課題解決型の商品・サービスの開発・提供を行っている	✓		エコカーやゼロエミッション車の販売・リースを実施している。		

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境10	環境面での社会貢献		※ビジネスとしての活動は環境9に記載		○			
環境10			会社として、道路・海岸や砂丘など、地域の清掃活動を行っている	✓		商工会を通じた地域貢献活動の地元美化活動に参加。	地域の環境とともにある 企業	【1年目】 ・社会貢献活動の実施 【2年目】 ・社会貢献活動の発信 【3年目】 ・環境レポートの作成
環境10		調達時には、グリーン商品や森林認証（FSC、SGEC）を受けた商品など、環境に優しい商品を選定している	✓		サステイナブルマテリアル素材を活用した自動車の販売を実施している。			
環境10		生物多様性の保全のための植樹活動や野生鳥獣保護活動を行っている						
環境10		J-クレジット購入又は共生の森づくりへの参加により、地域の森林保全に貢献している						
環境10		学校や地域に対して、環境教育活動を実施している	✓		社会科見学の受け入れ時にSDGsやカーボンニュートラルに関する説明の実施をしている。			
環境10		環境保全のための寄附、寄贈等を実施している						
環境10		その他						
環境+			※環境1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		○			
環境+			（右欄に具体的内容等を記載）	✓		エコドライブの実践で環境負荷低減を図り、交通安全啓発も 行っている。	環境負荷軽減の仲間づくり	【1年目】 共創に関する取り組みの実施 【2年目】情報発信 【3年目】事故率調査